

使用方法

1 ベッドを膨らませます。
ベッドに取り付けられたバルブから空気を注入します。

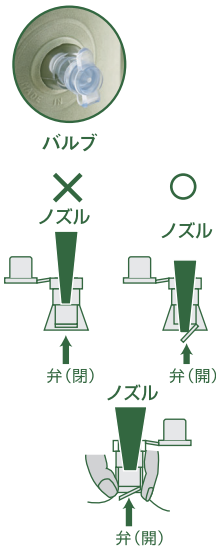
2 バルブの蓋を開け、市販ポンプのノズルをバルブの注入口に差し込みます。
必ずポンプのノズル先端が、バルブ内の弁を貫通するまでしっかりと押し込み、弁が開いた状態で空気注入してください。

弁が閉じたままでは空気は入りません。また、電動ポンプの場合、破損の原因となります。

ノズル先端が弁に届かない場合は、弁付近を指でつまむと弁が開きますので、つまみながら空気注入を行ってください。(つまんでも開かない場合は、いろんな方向からつまんでみてください)

3 空気を入れる際の注意点!
足踏み(手動)ポンプで空気を入れる際は、必ず1踏み毎に2秒の間隔を開けてください。連続して踏むと、内部に過度の圧力が加わり、破損の原因となります。必ず守ってください。

※急激な空気注入や入れ過ぎは、破損の原因となります。十分にご注意ください。



4 バルブの蓋を閉じます。
バルブからノズルを抜くと、急激に空気が抜けて出てきます。以下の手順ですばやく蓋を閉じてください。
1.ノズルをバルブ口から抜くと同時に、バルブ口をすばやく親指で塞ぎます。
2.そのままの状態ですばやく10秒程待ちます。
3.親指を除けると同時にすばやくバルブの蓋をしてください。
4.蓋をしっかりと閉め蓋が外れないか確認してください。

5 枕を膨らませます。マットと同じようにして枕に空気注入を行い、蓋をしっかりと閉じてください。

空気排出方法

バルブの蓋を外し、空気を抜きます。抜き方のコツとしては、バルブの蓋を開け、バルブ口にわり箸を差し込み、わり箸が弁を貫通した状態で、自然と抜けて行くのを待ちます。
マットを少し折り畳み、その上に靴等の重しを置いて10分程度放置すると、かなりの空気が抜けます。あとは、折り畳みながら全ての空気を押し出してください。

補修方法

穴が空いた場合の補修方法は、付属の応急処置用ステッカーを使い補修してください。
・凹凸のある部分や、起毛部分は、シール等が貼りにくいため、補修できません。
・補修はあくまでも応急処置とお考えください。一度、空気漏れを起こすと、補修をしても他の部分に穴が開きやすくなります。

ご使用いただける ポンプの種類

使用可能: AC100タイプ(家庭用コンセント)、
DC12Vタイプ(車内シガーソケット)、足踏みタイプ、手動タイプ
使用不可: 電池タイプ